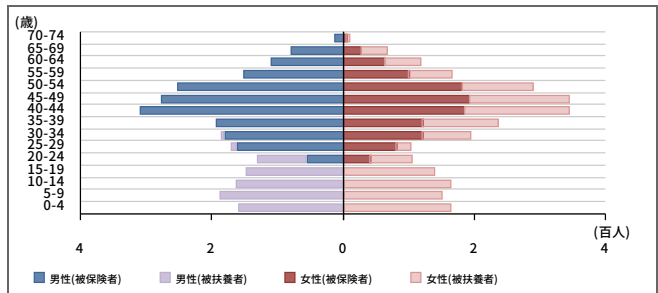


帝国データバンク健康保険組合 サマリー (第2期 平成30年度)

STEP1 基本情報

組合コード	24891
組合名称	帝国データバンク健康保険組合
形態	単一
業種	情報通信業
被保険者数	2,905名
* 平均年齢は特例退職被保険者を除く	男性61.6% (平均年齢44歳) * 女性38.4% (平均年齢44歳) *
特例退職被保険者数	0名
加入者数	5,131名
適用事業所数	8カ所
対象となる拠点数	88カ所
保険料率 (調整を含む)	72‰



特定健康診査実施率	(全体) 81.1%	(被保険者) 94.1%	(被扶養者) 40.9%
特定保健指導実施率	(全体) 7.6%	(被保険者) 7.9%	(被扶養者) 0.0%

STEP2 健康課題の抽出

優先すべき課題

「新生物」の患者数は少ないものの、医療費総額は多い。かつ長期的視野で見れば予防可能な領域。 カテゴリ: 医療費・患者数	✓
「呼吸器系」「眼・付属機器」「皮膚・皮下組織」「感染症」は患者数は多いが一人当たりの医療費は少ない。 カテゴリ: 医療費・患者数	
ジェネリック医薬品の使用割合は増えているが、家族の年少者へのアプローチが求められる。 カテゴリ: 医療費・患者数, 健康状況, その他	✓
男性については肥満と健康リスクとの相関関係が読み取れる。女性については明確ではない。 カテゴリ: 医療費・患者数, 健康状況	✓
糖尿病重症化予防の観点からは、HbA1cが高いにもかかわらず、服薬していないものがある。 カテゴリ: 医療費・患者数	✓
特定健診については、家族の受診率が低調である。特定保健指導については終了者の割合が低い。 カテゴリ: その他	✓

STEP3 保健事業の実施計画

事業全体の目的
生活習慣の改善を促し、予防可能な疾病罹患数を対前年度で減少させる。特定保健指導の完了者が少ない。ジェネリック薬品の使用割合を高める。
事業全体の目標
被保険者は、HbA1cが高いにも拘わらず放置し、受診していない者を0にする。健診で「要再検」「精密検査」と判定された者への産業医面談の欠席者を0にする。特定保健指導の完了者割合をまずは20%とする。ジェネリック医薬品の使用割合は全体で8割まで引き上げる。
職場環境の整備
1 健康管理事業推進委員会 (事業主との定期的な意見交換)
加入者への意識づけ
1 産業医による健康相談・受診勧奨・禁煙指導
2 広報誌「健保だより」「すこやかファミリー」の配布
3 退職後の健康管理の働きかけ
個別の事業
1 本人特定健診
2 家族特定健診
3 特定保健指導 (被保険者については就業時間内実施配慮)
4 後発医薬品の使用促進
5 人間ドック
6 生活習慣病検査および対面による健診結果の情報提供
7 歯科健診: 健診受診者の把握・歯科保健指導・歯科受診勧奨
8 家族健康診断
9 大腸検査 (がん健診・要精密検査者への受診勧奨)
10 子宮頸部細胞診検査 (がん健診・要精密検査者への受診勧奨)
11 家庭用救急薬品の配布
12 インフルエンザワクチンの予防接種補助金
13 インフルエンザワクチンの集団接種の実施
14 眼底検査
15 電話による健康相談 (こころの健康づくりを含む)